

令和3年12月24日
水管理・国土保全局防災課
大臣官房参事官(運輸安全防災)
道路局環境安全・防災課
自動車局安全政策課
気象庁

大雪に対する国土交通省緊急発表

- 日本の上空に強い寒気が流れ込み、日本付近は25日から28日頃にかけて強い冬型の気圧配置となる見込みです。
- 25日から28日頃にかけて、北日本から西日本の日本海側を中心に荒れた天気や大雪となるおそれがあります。また、太平洋側でも山地を中心に大雪となり、平地でも積雪となるところがあるおそれもあります。
- 過去にも大雪による車両の立ち往生が発生していることから、十分に警戒してください。大雪の場合は、不要不急の外出を控えてください。
- ドライバーの皆様には、冬タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着の徹底をお願いします。また、降雪状況等により、広範囲での通行止めや、結果として、高速道路と並行する国道等が同時に通行止めとなる場合があります。広域迂回の実施や、通行ルートの見直しなどのご協力をお願いします。
- 令和2年12月や令和3年1月7日からの大雪の際には、大型車の立ち往生が主な原因となり、甚大な影響が生じています。国土交通省では、冬タイヤの未装着等により立ち往生した事業用自動車に対し、悪質な事例については、監査をしたうえで、安全管理義務違反として、当該事業者の行政処分を行うこととしています。運送事業者の皆様も、冬タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着を徹底するとともに、タイヤの摩耗劣化にも十分に注意して下さい。
- 大雪が予想される地域では、公共交通機関においても、大規模かつ長時間にわたる遅延や運休が発生するおそれがあります。
- 最新の気象情報や交通情報等に留意し、外出が必要な場合には、十分な時間的余裕を持って行動いただくようお願いします。

【問い合わせ】 (全般)

国土交通省 水管理・国土保全局 防災課災害対策室 企画専門官 石尾 浩市
TEL(直通): 03-5253-8461 (内線 35762) FAX: 03-5253-1608

(公共交通機関に関すること)

大臣官房参事官(運輸安全防災)付 課長補佐 中川 将志
TEL(直通): 03-5253-8309 (内線 25623) FAX: 03-5253-1531

(道路に関すること)

道路局 環境安全・防災課道路防災対策室 企画専門官 竹下 正一
TEL(直通): 03-5253-8489 (内線 38252) FAX: 03-5253-1622

(自動車運送事業に関すること)

自動車局 安全政策課 課長補佐(総括) 衣本 啓介
TEL(直通): 03-5253-8566 (内線 41602) FAX: 03-5253-1638

(気象の見通しに関すること)

気象庁 大気海洋部 業務課 気象情報企画官 竹田 康生
TEL(直通): 03-3434-9055 (内線 4107) FAX: 03-3434-9047

- 日本の上空に強い寒気が流れ込み、日本付近は25日から28日頃にかけて強い冬型の気圧配置となる見込みです。
- 25日から28日頃にかけて、北日本から西日本の日本海側を中心に荒れた天気や大雪となるおそれがあります。また、太平洋側でも山地を中心に大雪となり、平地でも積雪となるところがあるおそれもあります。過去にも大雪による車両の立ち往生が発生していることから、十分に警戒してください。大雪の場合は、不要不急の外出を控えてください。
- ドライバーの皆様には、冬タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着の徹底をお願いします。また、降雪状況等により、広範囲での通行止めや、結果として、高速道路と並行する国道等が同時に通行止めとなる場合があります。広域迂回の実施や、通行ルートの見直しなどご協力をお願いします。
- 令和2年12月や令和3年1月7日からの大雪の際には、大型車の立ち往生が主な原因となり、甚大な影響が生じています。国土交通省では、冬タイヤの未装着等により立ち往生した事業用自動車に対し、悪質な事例については、監査をしたうえで、安全管理義務違反として、当該事業者の行政処分を行うこととしています。運送事業者の皆様も、冬タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着を徹底するとともに、タイヤの摩耗劣化にも十分に注意して下さい。
- 大雪が予想される地域では、公共交通機関においても、大規模かつ長時間にわたる遅延や運休が発生するおそれがあります。
- 最新の気象情報や交通情報等に留意し、外出が必要な場合には、十分な時間的余裕を持って行動いただくようお願いします。

【1. 今後の気象の見通し】

24日11時時点

<大雪に警戒が必要な時間帯>

日		24日	25日	26日	27日	28日
時		12~18	18~6	6~24		
北海道地方	大雪	■		■		
関東甲信地方	大雪			■	■	
北陸地方	大雪			■	■	■
東海地方	大雪			■	■	
近畿地方	大雪			■	■	
中国地方	大雪			■	■	
九州北部地方	大雪			■	■	
九州南部	大雪			■	■	

(■ 大雪の可能性が高い、■ 大雪の可能性が高い)

<大雪の見通し(単位:センチ)>

地域	26日12時までの 24時間降雪量	27日12時までの 24時間降雪量
北海道地方	50~70	30~50
関東甲信地方	50~70	50~70
北陸地方	60~80	70~100
東海地方	20~40	30~50
近畿地方	40~60	60~80
中国地方	50~70	50~70
九州北部地方	5~10	10~20
九州南部	1~5	1~5

※各地の気象台が発表する気象情報等に留意ください。
最新の気象情報については、気象庁HPをご覧ください。
(<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

【2. 過去の大雪における立ち往生事例】

令和2年12月14日から令和2年12月21日にかけての大雪

<大雪のため、大規模な立ち往生が発生 2,000台以上>

○令和2年12月14日から令和2年12月21日にかけて、日本付近は強い冬型の気圧配置が続き、上空には強い寒気が流れ込み続けました。この影響で、北日本から西日本の日本海側を中心に断続的に雪が降り、14日から21日にかけての期間降雪量が200センチ(時間最大11センチ)を超えるなど、関東地方や北陸地方、東北地方の山地を中心に大雪となりました。

○関越自動車道で、2,000台を超える大規模な立ち往生が発生し、車両の移動および通行止め解除に2日以上要しました。



関越自動車道の立ち往生発生状況
令和2年12月18日(金)

【3. 整備局など現場の対応状況】

○降雪後の除雪に努めつつ、除雪能力を上回る降雪などが見込まれる場合には、計画的・予防的な通行止めを行い、集中的な除雪作業を実施します。

令和2年度の大規模滞留等の状況



車両の滞留



スタックした大型車



直轄応援による車両救出



一時避難などの意向確認